



2022年1月分

 TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
 東京税関羽田税関支署


羽田空港貨物取扱量

総取扱量及び取卸量が前年同月比で10ヵ月連続増、積込量は前年同月比で11ヵ月ぶりに減

概要

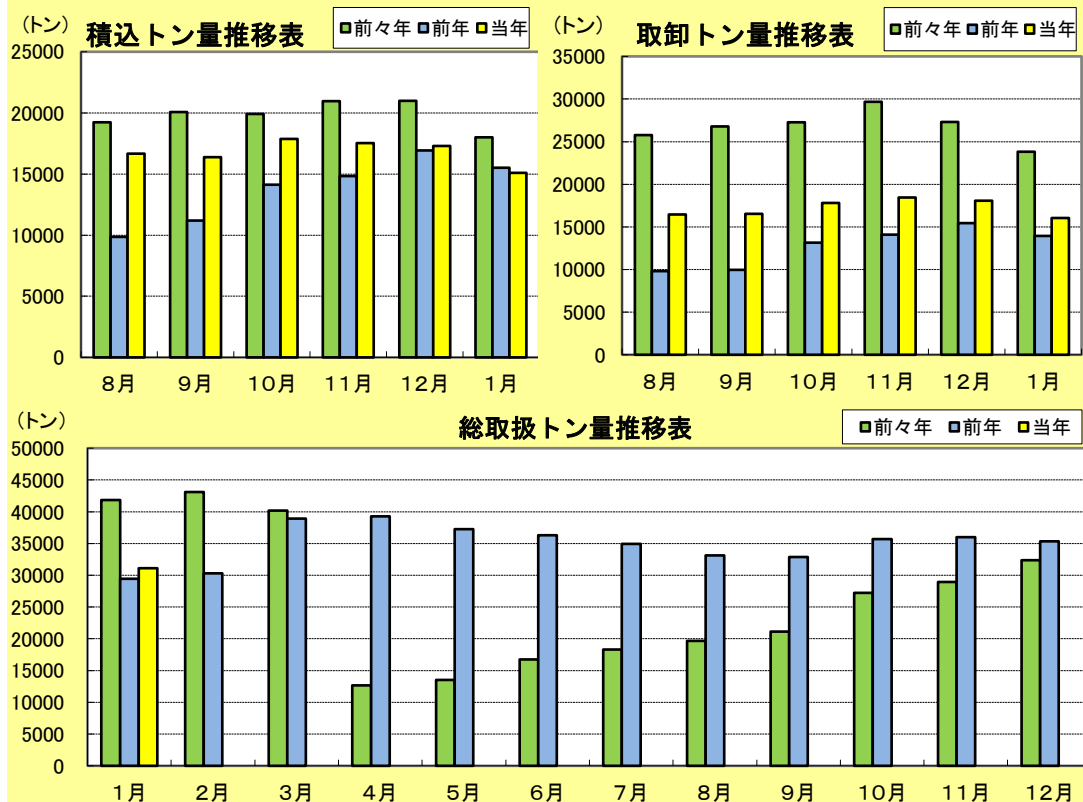
2022年1月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 31,127トン(前年同月比 5.7%増)

積込量 15,086トン(同 2.7%減)

取卸量 16,041トン(同 15.1%増)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量と取卸量が10ヵ月連続でプラス、積込量は11ヵ月ぶりにマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,005トン(前年同月比 36.2%増、シェア12.6%)

その他地域通関 6,959トン(同 2.9%増、同 87.4%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、11カ月連続でプラスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 4,194トン(前年同月比 22.7%増、シェア 40.6%)

その他地域通関 6,128トン(同 38.1%増、同 59.4%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、10カ月連続でプラスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 7,122トン(前年同月比 11.0%減)

取卸量 5,719トン(同 6.0%減)

となり、前年同月比で見ると、積込量は2カ月連続でマイナス、取卸量は10カ月ぶりにマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年1月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 762トン(前年同月比 19.8%増、シェア 18.2%)

ドライ貨物 3,432トン(同 23.4%増、同 81.8%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等23.8%(前年同月比23.2%増)、水産物29.4%(同32.3%減)、果物16.8%(同411.8%増)、植物(切花等)12.2%(同71.2%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年1月			2021年1月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	4,194	122.7%	100.0%	3,417	51.3%	100.0%
生鮮	762	119.8%	18.2%	636	72.0%	18.6%
ドライ	3,432	123.4%	81.8%	2,781	48.1%	81.4%